

(別紙)

『畜産業振興事業の実施のために独立行政法人農畜産業振興機構からの補助金の交付により造成した基金の管理に関する基準』に基づく報告・公表資料

1. 基金の概要 (平成18年度)

基金の名称	畜産特別資金融通円滑化特別基金
法人名	(社)中央畜産会
基金額(機構補助金等相当額)	444百万円(444百万円)(平成18年4月1日現在)
基金事業の概要	(独)農林漁業信用基金の保証保険事業の基盤強化を図るために出資を行う都道府県農業信用基金協会に対し補助する。

2. 見直し結果 (平成18年度)

項目	講ずる措置	
実施した見直しの概要	今後とも、基準に適合するよう事業を実施。	
基金事業実施期間	平成44年度までに事業を終了する。	
次回の見直し時期	次回見直しは、平成21年度に実施する。	
基金の保有割合	算出した保有割合は、0.8であった。算出に用いた方式及び数値については、以下のとおりである。	
基金の保有割合の算出	(算出に用いた方式) 保有割合 = 直近年度末の基金額 ÷ (事業完了までに必要な補助見込額) = 444百万円 ÷ 548百万円 (算出に用いた数値) 直近年度末基金額：444百万円 事業完了までに必要な補助見込額：548百万円	
使用見込みの低い基金等の取扱いの検討結果	使用見込みの低い基金等の該当の有無	有
	基準6(1)の に該当 (使用見込みの低い基金等に該当する場合の検討の結果) 本基金は、平成14年度以降事業実績がないが、(独)農林漁業信用基金の畜特資金に係る保険準備資金の残高約39億円(平成17年度)に対し、保険準備資金の所要額が約44億円(平成19年度までの融資分)となる見込みであり、今後の保険準備資金の不足に備えるため、引き続き基金を存置する必要がある。	
その他		